



## Zoho が非英語圏市場のウェブサイトコンテンツローカリゼーションを RWS で一元化し、品質向上と 64% のコスト削減を実現

[www.zoho.com](http://www.zoho.com)

お客様

Zoho Corporation

業界

ハイテクソフトウェア

設立

1996 年

本社所在地

インド、タミルナードゥ州チェンナイ

### ソリューション

言語サービス

RWS TMS

Mantra

Drupal コネクタ

ウェブサイトのローカリゼーションを一元化すると、何が起こるでしょうか？ RWS と提携した Zoho は、言語の一貫性を強化し、ローカリゼーションコストを 64% 削減しながら、わずか 1 年で 1,200 万ワードを超えるコンテンツの翻訳を実現しました。

### 翻訳されたウェブページ全体で一貫性のあるメッセージを発信

Zoho Corporation はインドに本社を置くグローバルテクノロジー企業です。55 以上のクラウドソリューションを通して、さまざまなビジネスニーズに対応しています。事業が世界へと拡大するなか、同社は非英語圏市場向けのウェブサイトコンテンツのローカリゼーションを一元化する必要があることに気づきました。

Zoho が求めていたのは、翻訳の品質と精度という観点で、自社の一貫した基本理念やメッセージをそれぞれの市場に届けてくれる翻訳パートナーでした。

それまで、Zoho は複数の個人翻訳者と複数の現地翻訳会社（LSP）に翻訳を依頼していましたが、この手法ではプロジェクト管理にかかる時間が増えていくばかりでした。そこで、翻訳事業をグローバルに展開し、言語とテクノロジー分野の経験が豊富な RWS をパートナーに選んだのです。

### ローカリゼーション手法を一元化

RWS がまず取り組んだのは、Zoho のウェブサイトコンテンツを 23 の言語に翻訳すること、そしてブランドのメッセージと統一性を改善することでした。Zoho のローカリゼーション手順を確認した RWS は、プロセスを効率化してすべてのコンテンツの品質を確保するため、同社のローカリゼーション機能を一元化することを提案しました。

### ウェブサイトのローカリゼーションに新たなテクノロジーインフラを導入

Zoho は、RWS のターンキーソリューションである翻訳管理システム (TMS)、Mantra API と Drupal コネクタを導入し、ウェブサイトローカリゼーションサプライチェーンの自動化と効率化に着手しました。翻訳メモリも重要な役割を果たしました。過去の翻訳の再利用が可能になるため、コストの削減と作業時間の短縮を図れ、翻訳の一貫性も向上します。

ヒューマンタッチポイントを最小限に抑えて手作業を減らすため、Zoho と RWS はオンプレミスコネクタを開発しました。Mantra のコネクタを介し、Zoho の Drupal コンテンツ管理システムにあるウェブコンテンツを RWS の TMS で直接処理して Drupal に戻せるようになり、エンジニアリングチームの手作業が不要になりました。RWS はこれらのコネクタのテストを体系的に実施し、発見された問題それぞれに丁寧に対処して解決し、最適な機能性を確保しました。このプロセスは、複数のバージョンのコネクタとバッチを実装して入念に実行されています。Zoho Desk コネクタ、Drupal コネクタ、WordPress コネクタからなるこれらのツールは、Zoho のウェブサイトローカリゼーション業務の効率化と自動化を大幅に前進させました。

Zoho の関係者は、この新たな戦略のロールアウト中に発揮された、コラボレーションとコミュニケーションを重視する RWS のアプローチを高く評価しています。Zoho のテクニカルチームとの定期的な打ち合わせや複数回のテストジョブも、この作業が計画どおり順調に進んでいることを全員に確信させるものでした。

Zoho は、RWS と国内のレビュアーとの強固なつながりや連携にも満足しています。RWS の現地オフィスは、問題が発生するたび Zoho のレビュアーと緊密に連携し、問題解決にあたりました。両社は一丸となって用語、ブランディング、トーン、スタイルなど品質に関わる重要要素に取り組み、翻訳精度の向上に努めました。

その後、Zoho は RWS の協力を得て、ローカリゼーション戦略に新たな改良を加えます。その 1 つは、自社製品とユーザーマニュアルコンテンツに機械翻訳のポストエディット (MTPE) を導入することでした。この手法に移行した結果、Zoho はより多くのコンテンツを以前よりも短期間・低コストで翻訳できるようになり、ウェブページ公開までの期間が短縮しました。

RWS の評判が Zoho 社内に広がるにつれ、他部門からもローカリゼーションの問い合わせを受けるようになり、現在では法務、ヘルプデスク、ウェブサイト、テクニカルドキュメントなど、Zoho のコンテンツの 80 ~ 90% を RWS が翻訳しています。

「RWS は、非英語圏市場向けウェブサイトのコンテンツ翻訳作業を効率化し、納期の短縮を実現してくれました。RWS チームとの連携は、私たちにとって素晴らしい経験でした」

Arivuchelvan  
Panneerselvam 氏  
Member Leadership Staff、  
Zoho's Creative Team

#### ローカリゼーションのメリットが Zoho の戦略的優位性を強化

ウェブサイトローカリゼーションプロセスの一元化は、Zoho に重要な戦略的優位性をもたらしています。

Mantra、API コネクタ、翻訳メモリなどのテクノロジーを中核とするこのプロセスにより、同社では 1,200 万ワードを超える翻訳が可能になり、ローカリゼーションコストを 64% 削減しました。また、運用コストと手動のタッチポイントを削減したことで、チームは人の介入が必要なタスクに集中できるようになりました。

「RWS との連携は素晴らしい経験です。RWS のツールの使いやすさには本当に感動しました。親しみやすく直感的で、タスクを効率よく効果的に完了することが簡単にできました」と、Zoho の Creative Team に所属する Member Leadership Staff の Arivuchelvan Panneerselvam 氏は語ります。

さらに、ウェブサイトの翻訳にかかる時間は 10 日から 3～4 日にまで短縮されました。

両社のパートナーシップは時間とともに強化され、現在では翻訳対象の言語やコンテンツの種類がさらに拡大しています。Zoho が RWS の能力を信頼している証と言えるでしょう。

Arivuchelvan Panneerselvam 氏は、次のように語ります。「RWS のサポートチームの働きも素晴らしいものでした。知識が豊富で忍耐強く、進んで全力を尽くしてくれました。シームレスなプロセスを構築し、予算の中で最大限の成果を手にしたのは、彼らのおかげです」



#### 主な成果

- 23 言語
- 1 年間で 1,200 万ワードを翻訳
- 平均納期 3 ~ 4 日
- 翻訳メモリの使用による 64% のコスト削減
- 翻訳の 70% を再利用
- コンテンツの 80 ~ 90% を RWS で翻訳
- 1 年間で 16,000 ファイルを処理 (平均)

## ほかのケーススタディもご覧ください

[rws.com/jp/customers](https://rws.com/jp/customers)

#### RWS について

RWS Holdings plc は、テクノロジーを駆使した言語サービス、コンテンツサービス、知的財産サービスを提供する、唯一無二のリーディングプロバイダです。当社はコンテンツの変革と多言語データ分析を通じて、AI を活用したテクノロジーと人間の専門知識を組み合わせ、お客様がどこでも、あらゆる言語で理解されるようにすることでビジネスの成長をサポートします。

当社が目指しているのは、グローバルな理解の実現です。文化の理解、企業の理解、技術の理解を組み合わせることにより、当社のサービスとテクノロジーが、顧客の獲得と維持、魅力的なユーザー体験の提供、コンプライアンスの維持、データやコンテンツにおける実用的なインサイトの獲得など、お客様をさまざまな面でサポートします。

過去 20 年間にわたり、当社は独自の AI ソリューションを進化させるとともに、お客様による多言語 AI アプリケーションの探求、構築、使用を支援してきました。また、45 件以上の AI 関連特許と 100 件以上の査読論文を保有し、お客様の AI 導入をサポートしてきた経験と専門知識があります。

世界のトップブランド 100 社の 80% 以上、フォーチュン誌の「最も賞賛される企業」20 社の 4 分の 3 以上、さらに大手製薬会社、投資銀行、法律事務所、特許事務所のほぼすべてが当社を利用しています。クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、アフリカ、北南米に広がっています。5 つの大陸に展開した 65 を超えるグローバル拠点から、自動車、化学、金融、法律、医療、製薬、テクノロジー、電気通信の各分野のお客様にサービスを提供しています。

1958 年に設立された RWS は、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、[www.rws.com/jp](https://www.rws.com/jp) をご覧ください。

© 2024 All rights reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\* の機密情報および専有情報とみなされます。

\* RWS Group とは、RWS Holdings plc およびその関連会社および子会社の代表を意味します。